

| 第2回 金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 会議録 | |
|------------------------------|---|
| 日 時 | 令和2年3月25日(水) 13時00分～15時50分 |
| 開催場所 | 金沢区役所6階1号会議室 |
| 出席者 | 選定委員：青木委員、赤木委員、魚谷委員、新明委員、山岸委員、山口委員、山中委員 事務局：千田福祉保健センター担当部長、高橋福祉保健課長、大島高齢・障害支援課長、白井高齢者支援担当係長、大森介護保険担当係長、柴田事業企画担当係長、長田事業企画担当職員、北村事業企画担当職員 |
| 欠席者 | 有本委員、出丸地域包括ケア推進担当係長 |
| 開催形態 | 公開（傍聴者なし） ※面接審査以外の事項については、非公開。 |
| 次 第 | 開会 事務局説明 議事 1 審査方法について 2 財務状況について 3 面接審査 4 指定候補者の決定 5 その他 閉会 |
| 議事内容 | 開会 事務局より連絡事項 ・委員8名のうち7名出席につき、金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項により、委員会が成立していることを報告。 ・今回の委員会の議事録署名人は、魚谷委員と新明委員に依頼し、了承された。 ・傍聴人の申し込みはなかったことを報告。 議事 1 審査方法について 第1回選定委員会で確認した内容を再確認した。 ・採点方法 ・審査手順 |

2 財務状況について

事務局より報告。

報告内容について、赤木委員から補足。

委員：財務状況の審査について、異議なし。

3 面接審査

(1) 能見台地域ケアプラザ

社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会（当日は法人名を伏せて自己紹介）よりプレゼンテーションが行われた。

【質疑応答】

委員：数々の取り組みのご紹介がございましたが、特に課題と考
えていることを、いくつか教えていただけますでしょうか。

応募者：地域の担い手と参加者の高齢化に伴い、活動の広がりが見
られないことが1番の課題と感じています。

また、山坂が多い地域であるため、移動や買い物に困って
いる方が多いことも課題と考えています。

さらに、8050 問題に象徴されるような多問題が集積してき
ていて、ケアプラザとしても多くの課題を抱えていると、
ひしひしと感じているところです。

委員：職員や利用者の健康管理と、日々の感染症対策についても
う少し詳しく教えていただけますか。

応募者：職員の健康管理については、定期健康診断のほか、感染症
予防について研修を行っています。具体的には、デイサー
ビス職員に対して、ノロウイルス対応の実務研修などを実
施しています。

また、法人全体でメンタルヘルスチェックも行っています。

委員：近年、SARS・MARS・豚コレラ・インフルエンザ・新型コ
ロナ等、多くの感染症が注目されており、これからは施設
内だけでなく、地域に目を向けた感染症対策が課題になっ

てくると思います。地域への感染症対策として何か考えられることはありますか。

応募者：施設に備蓄されているマスクや消毒薬も足りない状況であるため、地域にご提供はできないが、感染を防ぐノウハウを伝えることはできると思います。

昨今の状況を鑑みると、地域の皆さんが不安に思っていることに対して、情報提供を行うことができればと思います。

委員：災害対応について、応募書類には福祉避難所に関する記載がありますが、地域に向けた周知はどのようにされているのでしょうか。

応募者：福祉避難所の周知については、十分にできているといえないのが現状です。

ケアプラザにポスターを掲示していますが、施設利用者しか見ることができないため、施設を利用していない方に向けても、きちんと説明をしていく必要があると考えています。

区のホームページでも周知されていますが、発災時の混乱時でも対応ができるようにするためには、区民全員が福祉避難所について知っていることが必要だと考えています。

委員：隣接施設がありますが、避難の方法の検討や避難訓練、課題への取り組み等について、連携が行われているのでしょうか。

応募者：日常業務において情報交換を行っていますが、合同の避難訓練等は行ったことはありません。しかし、別々の建物という利点を活かして、それぞれの役割分担ができると考えています。

たとえば、ケアプラザには専門設備が必要ない障害者の方に避難いただき、専門のケアが必要な方には、隣の施設に避難いただくというような、福祉避難所間で連携して対応していくことになるかと考えています。

また、大災害が起きた場合には、個別に対応していると広域的な対応ができなくなってしまうため、基本的には区の判断に従いながら避難者の方々の対応を行うことになるかと考えています。

<各委員による採点>

(2)六浦地域ケアプラザ

社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会（当日は法人名を伏せて自己紹介）よりプレゼンテーションが行われた。

【質疑応答】

委員：職員や利用者の健康管理と、日々の感染症対策について、もう少し詳しく教えていただけますか。

応募者：職員の健康管理については、衛生委員会を毎月開催しており、健康管理員も交えて健康診断やメンタルヘルスの結果などについて、共有しています。

感染症については、産業医に相談したりして対応しています。

特に最近の新型コロナウイルス対策については、アルコール消毒や手洗いの徹底、検温を行っており、マスク着用の励行も行っています。

委員：利用者の体調が急変した場合の対応について、マニュアルなどはありますか。

応募者：対応方法について、マニュアルを作成しています。実際には、デイサービスの看護師と相談しながら対応することになっています。

また、若草病院と提携して緊急時のホットラインを設けており、救急車を呼ぶほどでなくても、いつでも相談できるようにしています。

委員：ボランティア活動についてご紹介がございましたが、具体的な活動先はどのような場所があるのでしょうか。

| | |
|--|---|
| | <p>応募者：地域内にボランティアネットワークという団体が15年以上前からあり、さまざまな種類のボランティア団体をご登録されています。ケアプラザにボランティアのご相談が入った際には、ボランティアネットワークに繋ぎ、内容に合わせたボランティア団体にご相談内容をお伝えしています。活動先としては、地域だけでなく施設内でのボランティア活動もあり、ケアプラザ内のデイサービスでのお茶出しや、地区センターやケアプラザの庭の草取りなどの活動もあります。</p> <p>委員：地域の住民を対象にしたボランティア活動は、全体のどれぐらいなのでしょう。</p> <p>応募者：ほとんどが地域の方を対象としたボランティア活動です。</p> <p>委員：他のボランティア団体との連携などはあるのでしょうか。</p> <p>応募者：金沢区社会福祉協議会のボランティアセンターと連携しています。ボランティアセンターは区内全域が対象ですが、ボランティアネットワークは六浦西・六浦地区を対象としています。</p> <p>委員：六浦地域ケアプラザの特徴を、いくつか教えてください。</p> <p>応募者：まず第一に、職員の資質が高いと考えています。また、地域の方の参加意欲が高く、地域とケアプラザとの連携が取れていると思っています。一例をあげますと、地域には、ケアプラザの設置以前から、20年以上も活動されているボランティア団体があり、毎月定例で配食などの活動をされているのですが、その中で把握した情報を共有いただき、地域やケアプラザとそれぞれのニーズにあわせて、連携したりしています。</p> <p>委員：複数のケアプラザの指定管理者となっていますが、同じ法人内のケアプラザの同じ特徴と、ケアプラザによって異なる</p> |
|--|---|

| | |
|--|--|
| | <p>る特徴などはありますか。</p> <p>応募者：同じ特徴としては、法人の理念に沿って、日々業務に臨んでいるところです。法人内でケアプラザの連絡会を行っており、施設の管理や危機管理については、共通の目標を持って取り組んでいます。</p> <p>異なる特徴としては、担当地域が非常に親しみやすい地域柄であるため、その地域になじみながら様々な取組を進めていくというところが特徴的だと思います。</p> <p>委員：学校との連携等によって、中学生や高校生といった若い人がボランティア活動に参加したりしていますか。</p> <p>応募者：若い世代もボランティア活動に参加しています。特に六浦ケアプラザでは、横浜市立大学や関東学院大学が近くにあることに加え、看護学生の実習も多く受け入れています。大学のボランティア講座では、ケアプラザのコーディネーターが説明したり、学生のイベントと一緒に参加させてもらったりして、若い人がボランティア活動に参加するきっかけ作りをしています。</p> <p>委員：学生は就職などによって活動から離れてしまうと思いますが、続いている活動はありますか。</p> <p>応募者：勉強が本分のため、活動に参加できない場合もありますが、地域に住んでいる場合には、卒業後も続けてボランティア活動をしてくださる人もいらっしゃいます。</p> <p>委員：障害者向けに「あったかスペース」という自主事業を行っていますが、参加者は何人ほどでしょうか。また、どのような方が利用されているのでしょうか。</p> <p>応募者：毎月3名ほどが利用されています。利用者が少ないため、区内ケアプラザ全体で共通の事業として「サマーフレンド」を行い、みなとみらいの観光を行いました。利用者は、学生や成人の方もいらっしゃり、作業所の帰り</p> |
|--|--|

などに利用されているそうです。

委員：利用が少ない理由として何か考えられることはあるでしょうか。

応募者：想像にはなりますが、利用者の親がお仕事をされている方が多いため、利用者をケアプラザまで連れてくるのが難しいことが原因ではないかと考えています。最近、障害児の保育も充実してきているので、保育で1日見てもらえるなら、ケアプラザには行かないという選択をされている方もいらっしゃるかと思います。

委員：障害者の場合、余暇活動の時は落ち着いていても、災害の時には思いがけない行動をしたりするので、ぜひ避難訓練を取り入れてほしいと思います。

<各委員による採点>

(3)並木地域ケアプラザ

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会（当日は法人名を伏せて自己紹介）よりプレゼンテーションが行われた。

【質疑応答】

委員：こども食堂はどのように進められているのか、詳しく教えていただけますでしょうか。

応募者：2か月に1回ほどの頻度で開催されています。毎回、10人以上の方が参加されていて、多いときは部屋がいっぱいになるほどの方が参加されることもあります。

毎回、主任児童委員さんが見守りとしてご協力くださっており、こどもだけでなく障害者の参加も多く、多くの方が楽しみにいらしゃってます。

委員：食材はどこから提供されるのでしょうか。

応募者：フードバンクかながわから、毎回お米の提供を受けていま

| | |
|--|---|
| | <p>す。また、毎回参加費をいただいでいて、次回の野菜などの食材調達に使っています。また、地域の方からの寄附もいただいたりしています。</p> <p>委員：職員に欠員が生じていた期間がありますが、欠員時の人事の考え方を教えていただけますか。</p> <p>応募者：専門職の採用が難しい状況がありますが、なるべく欠員が生じないように努力しており、次年度は欠員が生じない予定です。</p> <p>委員：個人情報の取扱いについて、もう少し詳しく教えていただけますか。</p> <p>応募者：個人情報については、法人が複数のケアプラザの指定管理者となっているので、法人内で工夫して取り組むようになっています。 たとえば、通所介護においては、共通の方法で個人情報を取り扱うこととしています。</p> <p>委員：職員の健康管理について、もう少し詳しく教えていただけますか。</p> <p>応募者：健康管理については、職員の面談時に健康状態も聞き取り、個別に健康状態を把握するようになっています。その他にも、体調不良の場合には休暇を取るよう勧めたり、計画的に年次休暇を取得するよう励行したり、職員間で支え合って業務ができるよう進めているところです。</p> <p>委員：利用者の方の健康管理については、何か取り組みなどありますでしょうか。</p> <p>応募者：主治医とケアマネジャーで連携を取っており、デイサービス中に利用者の様子に変化があった場合には、連絡するようになっています。 室内には、消毒液の入った加湿器を設置しており、活動の</p> |
|--|---|

際には手洗いや消毒を励行しています。また、のどの調子が悪いとおっしゃる方には、マスクをお渡ししたりしています。

併せて、職員もマスクの着用や手洗いの徹底、消毒の徹底を行っており、利用者の方も安心していらっしゃれるようにしています。

委員：プレゼンテーションの中で、「地域活動のノウハウを活かした活動」についてご紹介がありましたが、逆に苦手なことなどはあるでしょうか。

応募者：1番苦慮していることとしては、生活困窮者への支援についてです。生死にかかわるような状況でないと把握ができないという実情があり、もう少し早く手が差し伸べられなかったのか、と対応について考えているところです。

また、高齢の方だけでなく、子育て世代にも困窮している方がいらっしゃるということを、地域の方に教えていただいたりしており、そういった方々に直接支援の手が差し伸べられないかと模索しているところです。

しかし、ケアプラザで支援を行うことを積極的に周知すると、「ケアプラザ利用者は生活困窮者である」というレッテルを貼られる恐れもあるため、地域や関係団体と連携しながら、支援の手の1つとしてケアプラザがあればよいと考えたりしています。

併せて、経済的に裕福な家庭でも、夜にこどもが一人出歩き、夕食代を遊びに使っているという話もあり、そのようなこどもの居場所として、こども食堂などを使ってもらえたらと考えています。

委員：認知症支援事業に関連して、認知症初期集中支援チーム等がありますが、ケアプラザ内での具体的な取組は、何かありますでしょうか。

応募者：地域の中での見守り事業として、地域の中のロバの会という団体と協力して講座を行ったり、働いている世代向けに親の認知症についての講座を行ったりしています。また、

介護離職が話題になっているため、それを防ぐための講座を開催し、日常生活で触れることのできない情報をお伝えしたりしています。

また、認知症初期集中支援チームでは、毎月の会合に参加することに加え、包括支援センターだけでは対処しきれないケースについて、チーム全体で対応を検討したりしています。

委員：福祉避難所について、発災の状況に応じたマニュアルが必要と考えていますが、どの程度までマニュアル化されているでしょうか。

応募者：これまで震災を想定し、職員の参集方法等を定めておりましたが、近年は台風被害が大きいことから、新たに風水害を想定した対応方法を整理しているところです。

<各委員による採点>

4 指定候補者の決定

事務局より、すべてのケアプラザが最低基準点を上回っていることを報告し、さらにこれまで伏せていた法人名を発表した。

委員会からの推薦に際して、各地域ケアプラザの候補法人に対しては以下の意見が付与された。

【全応募法人に対して】

- ・高齢者の権利擁護として、高齢者だけでなく子の世代にも、成年後見制度の周知がこれから必要になってくるため、制度がより一層広まるようなケアプラザの取り組みを期待したい。
- ・いま元気な高齢者でも、いつかサポートが必要になる日が来ると思う。元気なうちにケアプラザから制度の説明などがあれば、より安心して地域で生活できると思うので、取り組みに期待したい。
- ・福祉避難所の取り組みに温度差があるため、地域やケアプラザにあったマニュアルの整備と日常の取り組みを期待したい。

【社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会

(能見台・六浦地域ケアプラザ) に対して】

- ・元気な高齢者が多く、協力して地域の活動ができているのは良い

こと。しかし、いずれケアプラザからのサポートが必要になると
思うので、予防も含めて、早めの高齢者への制度周知といった取
組に期待したい。

【社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

(並木地域ケアプラザ) に対して】

- ・ こども食堂の取り組みのなかで、経済的に裕福な家庭のこどもの居場所にもしたいとお話していた点が素晴らしい。
- ・ 食堂をこどもに限らず、障害者や高齢者といった、みんなの居場所になっていることは素晴らしく、今後の発展に期待したい。

5 その他

事務局より今後のスケジュールについて説明した。

【資料 1】

横浜市金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会名簿

【資料 2-1】

評価基準及び審査方法について

【資料 2-2】

前期の指定管理者業務の実績項目の評価方法について

【資料 3】

財務状況評価報告書